

幡中だより

あやめ

～since 1999～

第297号

令和6年2月7日

瀬戸市立幡山中学校



今年の恵方は東北東

～学校がよりよい方向を向くように～

瀬戸市立幡山中学校長 梶田 明敬

2月3日は「節分」でした。皆さんもご存じのように、豆まきの習わしは今も昔も変わらずありますが、最近は恵方巻を食べる人も多くなったように思います。私も3日の夕方、スーパーマーケットへ恵方巻を買いに行きました。高級なものから、具にこだわりがあるものまでいろいろな種類があり、多くの人だかりができていました。



恵方とは、その年の福徳を司る歳徳神(としとくじん、年神様の別称)のいる方角で、その方角に向かって事を行えば何事も吉とされています。2024年節分の恵方は、東北東です。恵方巻の歴史には諸説ありますが、大正時代や昭和初期ごろに端を発します。80年代あたりからコンビニで売られるようになり、全国で認知されるようになりました。節分に恵方を向き、願い事をしながら無言で巻き寿司を丸かぶりすると願いが叶う、幸せになるといわれています。

学校も毎年この時期になると、来年度も学校がよりよい方向を向くようにと、学校評価のまとめをします。学校評価とは、簡単にいうと、「学校が、学校自身の様々な活動について振り返る」、つまり自己評価をするということです。ただ、自己評価するためには、働いている教職員が振り返るだけでなく、通っている子ども達や保護者の方々の意見も取り入れて評価することが必要です。そして、その結果を保護者の方々のみならず、地域のみなさんにも説明してご意見をいただき、次年度の改善につなげていく。これが、学校評価なのです。この説明してご意見をいただく場が、3月25日(月)に開催予定である、コミュニティ・スクールの重要な会議、第3回学校運営協議会となるわけです。



<幡山中学校の学校教育目標>

人としての生き方を身につけ、国家・社会の担い手として、誇りと責任を自覚し、心身ともに健康でたくましく生き抜く生徒を育てる。

<幡山地区のめざす子ども像>

思いやりのある子
たくましく生きる子
地域に貢献できる子

この大きな二つの目標について、今年度、どこまで達成できたのかをアンケートし、グラフと考察でまとめました。その結果を次ページに掲載しましたので、ぜひご覧ください。

2年 救命講習会

1月16日(火)～18日(木)

瀬戸市消防署の方々のご協力によって、事前動画視聴で45分・当日講習で45分、合わせて90分の救急救命講習を行いました。事前に、保健体育の授業で学習はしていましたが、実際に行ってみることでわかる難しさや緊急性を感じることができたのではないかと思います。いざというときには現場で生かされることを願っています。



1年 瀬戸つばき特別支援学校との交流

1月19日(金)

幡山中学校で2回目の瀬戸つばき特別支援学校中学部との交流会を行いました。学級ごとに3つの会場に分かれ、楽しく仲良く協力しながら活動しました。お互いに笑い合う姿、助け合う姿、考える姿が見られました。6月も含め、2回の交流会を通して、お互いのことをたくさん知ることができました。



1組 卒業生を祝う会

1月31日(水)

市内の特別支援学級の生徒とともに、卒業生を祝う会に参加しました。会は、生徒の司会進行のもと進められました。幡山中学校は、開会のことばを担当しました。その後、学校ごとに発表が行われました。1・2年生は、3年生の紹介をしました。3年生は中学校生活を振り返った作文を発表しました。大勢の人がいる前で、堂々と発表することができました。



新1年生入学説明会

1月26日(金)に新1年生入学説明会を行いました。今年度は6年生には2月2日(金)の日に学校見学を行ったため、保護者の方のみに来ていただきました。お忙しい中お越しいただき、ありがとうございました。